

蟹江町歴史民俗資料館 おうちミュージアム

かにえまつり  
第21回 蟹江祭について(答えと解説)



(2023年(令和5年)の蟹江祭)

今回のおうちミュージアムでは、かにえまつり蟹江祭についてしょうかいします。蟹江祭は、江戸時代にかにえほんまちむら蟹江本町村であった地区で行われる祭りです。

かにえまつり  
① 蟹江祭が行われる神社はどれでしょうか？

ア <sup>とみよしたてはやじんじゃ はちけんしゃ</sup> 富吉建速神社・八劔社

イ <sup>かにえしんめいしゃ</sup> 蟹江神明社

ウ <sup>かしまじんじゃ</sup> 鹿島神社

答えは「イ」 <sup>かにえしんめいしゃ</sup> 蟹江神明社です。

<sup>かにえしんめいしゃ</sup> 蟹江神明社は蟹江町の中心部にあり、その西側には蟹江川が流れています。今からおよそ600年前の<sup>むろまちじだい</sup>室町時代に<sup>かにえじょう</sup>蟹江城ができた時、<sup>まも かみ</sup>守り神として<sup>た</sup>建てられたと伝えられています。

江戸時代になると、神明社のまわりにはたくさんの家が増え、<sup>かにえほんまちむら</sup>蟹江本町村と

して発展しました。神明社は、蟹江本町村やその周辺に住む人々の<sup>うじがみ</sup>氏神として<sup>しんこう</sup>信仰を集めました。

ちなみに<sup>とみよしたてはやじんじゃ はちけんしゃ</sup>富吉建速神社・八劔社は蟹江町北部、<sup>かしまじんじゃ</sup>鹿島神社は蟹江町南部にあります。



かにえまつり  
② 蟹江祭には、いくつの町内(地区)が<sup>さんか</sup>参加しているでしょうか？

ア 6町内

イ 7町内

ウ 8町内

答えは「ア」 6町内です。

<sup>かにえまつり</sup> 蟹江祭には、江戸時代に蟹江本町村であった6つの町内(<sup>かみのちょう</sup>上之町、<sup>しろのちょう</sup>城之町、<sup>きたのちょう</sup>北之町、<sup>なかのちょう</sup>中之町、<sup>しんやしき</sup>新屋敷、<sup>かいもん</sup>海門)が参加しています。なお、かつては<sup>かわにし</sup>川西、<sup>ごのちょう</sup>五之町を加えた8町内が蟹江祭に参加していました(川西、五之町は現在お休みしています)。





③ <sup>かにえまつり</sup>蟹江祭は、いつ行われているでしょうか。

ア 8月第1土・日曜日    イ 9月<sup>さいしゅう</sup>最終土・日曜日    ウ 12月31日

答えは、「イ」9月<sup>さいしゅう</sup>最終土・日曜日です。

<sup>かにえまつり</sup>蟹江祭は9月の最終土・日曜日に行われるようになりました。かつては9月17・18日に行われていましたが、祭りの日が平日だと会社で<sup>はたら</sup>働く人や学校に通う子どもたちが<sup>さんか</sup>参加できないため、1967年(昭和42年)から今のようにになりました。

【 <sup>かにえまつり</sup>蟹江祭のスケジュールについて 】

<sup>かにえまつり</sup>蟹江祭の主な行事

|   |                          |                                                                                                                   |
|---|--------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ① | 9月1日                     | <sup>しゃむしよ</sup> 社務所寄り                                                                                            |
| ② | 8～9月                     | <sup>まつりやかたじゅんぴ</sup> まつりやかたじゅんぴ <sup>まつりばやし</sup> まつりばやし <sup>みちゆきおどりれんしゅう</sup> みちゆきおどりれんしゅう<br>祭屋形準備、祭囃子・道行踊練習 |
| ③ | <sup>しゅうぶん</sup> 9月秋分の日  | <sup>し し み こ はら</sup> 獅子・巫女のお祓い                                                                                   |
| ④ |                          | <sup>み こ けいこ</sup> 巫女の稽古                                                                                          |
| ⑤ |                          | <sup>せんまい じゅんぴ</sup> 饌米の準備                                                                                        |
| ⑥ | <sup>さいしゅう</sup> 9月最終土曜日 | <sup>し し</sup> 子ども獅子                                                                                              |
| ⑦ |                          | <sup>のぼりばたほうのう</sup> 幟旗奉納                                                                                         |
| ⑧ |                          | <sup>まつりやかた まつりばやし みちゆきおどりほうのう</sup> まつりやかた まつりばやし みちゆきおどりほうのう<br>祭屋形・祭囃子・道行踊奉納                                   |
| ⑨ |                          | <sup>よきょう まつりやかたじゅんこう</sup> 余興(祭屋形巡行)                                                                             |
| ⑩ | <sup>さいしゅう</sup> 9月最終日曜日 | <sup>し し</sup> 子ども獅子                                                                                              |
| ⑪ |                          | <sup>まつりやかた まつりばやし みちゆきおどりほうのう</sup> まつりやかた まつりばやし みちゆきおどりほうのう<br>祭屋形・祭囃子・道行踊奉納                                   |
| ⑫ |                          | <sup>よきょう まつりやかたじゅんこう</sup> 余興(祭屋形巡行)                                                                             |



## ① <sup>しゃむしょよ</sup>社務所寄り

毎年9月1日に蟹江祭に参加する全ての町内の代表者が蟹江神明社へ集まり、その年の祭りはどのように行ふべきか、余興(出し物)はどうするかを決めます。また、ここで決められたことは神明講へ伝えられます。神明講とは、祭りで雅楽を演奏したり、巫女に舞などを教えたり、神明社での祭りを取り仕切る人たちのことです。



各町内の代表者は、それぞれの町名が記された提灯を持参する。

## ② <sup>まつりやかたじゅんぴ まつりばやし みちゆきおどりれんしゅう</sup>祭屋形準備、祭囃子・道行踊練習

各町内の会所(公民館)では、当日に向けて祭屋形の準備や祭囃子・道行踊の練習が始まります。



祭屋形の準備



祭囃子の練習



祭囃子の練習



道行踊の練習

### ③ 獅子・巫女のお祓い

9月秋分の日<sup>しゅうぶん</sup>の日の午後から、蟹江神明社<sup>かにえしんめいしゃ</sup>に各町内の代表者や子ども会、神明講<sup>しんめいこう</sup>の人たち、巫女になる子どもたちが集まり、祭りが無事<sup>ぶじ</sup>に行えるようにお祓いを受けます。



お祓いの様子

### ④ 巫女の稽古

巫女になる子どもたちは、神明講<sup>しんめいこう</sup>の人たちから舞や虫封じ<sup>まいむしふう</sup>のお祓い<sup>はら</sup>について学び、稽古<sup>けいこ</sup>をします。



神明講からの説明



お祓いの稽古

### ⑤ 饌米の準備

神明講<sup>しんめいこう</sup>の人たちが、虫封じ<sup>むしふう</sup>のお祓い<sup>はら</sup>を受けた人に渡すための饌米<sup>せんまい</sup>（神様に奉納したお米<sup>ほうのう</sup>）を準備<sup>じゅんび</sup>します。



饌米の様子



## ⑥、⑩ 子ども獅子

祭り当日の午前中、各町内では子どもたちが獅子頭を持ち、「ワッショイ、ワッショイ」という掛け声を出しながら町内を回り、花(お祝いのお金)を集めます。



子ども獅子の様子

## ⑦ 幟旗奉納

祭り1日目の土曜日の午前中は、各町内が幟旗を持って蟹江神明社に集まります。幟旗には、各町内の名前が金色の糸で刺繍されています。

幟旗奉納では①神職、②各町内の代表者と幟旗、③雅楽を演奏する伶人の順で行列をつくり、神明社を出発してかつての蟹江本町村を回ります。幟旗奉納には北回りと南回りの2つのコースがあり、1年毎に変わります。行列が神明社に戻ると、作物がとれたことを神様に感謝するための神事が行われます。



各町内の幟旗



幟旗奉納の様子



雅楽を演奏する伶人



幟旗奉納の様子



まつりやかた まつりばやし みちゆきおどりほうのう  
⑧、⑪ 祭屋形・祭囃子・道行踊奉納

祭り当日の2日間の午後、各町内は①代表者、②笛を吹く人、③祭屋形の順で行列をつくり、  
かいしょ こうみんかん かにえしんめいしゃ かいしょ こうみんかん  
会所(公民館)を出発して蟹江神明社に向かいます。町内によっては、さらにみちゆきおどり  
が行列に加わります。

神明社へとうちやく  
到着すると、各町内の行列はまつりばやし ほうのう  
祭囃子を奉納します。道行踊がある町内は、祭囃子  
にあわせて道行踊を奉納します。

特に2日目の日曜日では、各町内が神明社へ奉納する順番が毎年変わるほか、祭囃子につ  
いても巫女によるお祓いを受けてから「道行囃子」・「戻囃子」という2つの囃子を2回ずつ奉  
納します。



巫女によるお祓い



蟹江神明社での奉納

よきょう まつりやかたじゅんこう  
⑨、⑫ 余興(祭屋形巡行)

蟹江神明社でまつりばやし みちゆきおどり ほうのう  
祭囃子や道行踊を奉納した後、神明社を出発してかつての蟹江本町村を2  
日間に分けてねり歩きます。各町内のかいしょ こうみんかん  
会所(公民館)のほか、花(お祝いのお金)を買った家  
の前でもみちゆきおどり ひろう  
祭囃子や道行踊を披露した後、それぞれの会所(公民館)へ戻ります。



祭屋形のねり歩き



祭屋形のねり歩き





祭囃子の披露



道行踊の披露



会所(公民館)での休憩



会所(公民館)の様子



祭囃子の披露



道行踊の披露